

令和8年度 府立学校インターミディエイトセミナー（2～4年次研修）【支援学校】 実施要項

- 1 目的 教職経験2～4年次の教諭に対して、初任者研修の一環として研修を実施し、より実践的な指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。
- 2 対象 令和5～7年度の初任者研修受講者の内、今年度に受講を希望した者
- 3 日時等

回	日時		主題	会場等
	1班	2班		
22	7月27日 (月)	7月28日 (火)	授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【理論】 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
23	8月4日(火) 9:30～12:30		児童生徒理解を深めるために5 ー不登校・いじめへの対応／カウンセリングの考え方と学校教育相談ー 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
24	8月～1月		授業づくり13 子ども主体の授業づくりとその評価【実践】 〔演習〕	所属校等
25	1月12日 (火)	1月14日 (木)	授業づくり14 子ども主体の授業づくりとその評価【検証】 〔講義・演習〕	大阪府教育センター
	14:00～17:00			

- 4 会場 第22、23、25回
大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

第24回 所属校等

- 5 その他
- (1) 受付は30分前から。
 - (2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - (3) 大阪府教育センターに自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - (4) (受講決定後～当日) Plant で、事前連絡や課題がないか確認すること。

- 6 担当室 支援教育推進室

個別募集

令和8年度 府立学校インターメディアイトセミナー（2～4年次研修）【支援学校】 シラバス

1 目的

教職経験2～4年次の教諭に対して、初任者研修の一環として研修を実施し、より実践的な指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標															職に応じた指標		
	I			II			III			IV			V			支援学校(学級)		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	1	2	3
第4期																		
第3期																		
第2期																		
第1期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第0期																		

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	準備物・事前課題
22	授業づくり12 子ども主体の授業づくりとその評価【理論】	講義、演習を通して、子どもを主体とした授業づくりとその評価について認識を深め、実践に向けて具体的な授業の在り方について考える。	
23	児童生徒理解を深めるために5 ー不登校・いじめへの対応／カウンセリングの考え方と学校教育相談ー	<ul style="list-style-type: none"> 講義を通して、不登校・いじめ事象の未然防止や初期対応、事後の子どもへのケアなどについて学び、不登校・いじめの実践的な対応について理解する。 講義、演習を通して、児童生徒や保護者との関係づくりに生きるカウンセリングの考え方について学び、学校教育相談の役割について理解する。 	事前課題 自校の「いじめ防止基本方針」を読んでおく
24	授業づくり13 子ども主体の授業づくりとその評価【実践】	<ul style="list-style-type: none"> 演習を通して、【理論】回で学んだことを生かして学習指導案を作成し、子ども主体の授業とその評価を実践する。 所属校での実践を振り返り、取組みの成果や課題、改善点についてレポートを作成する。 	
25	授業づくり14 子ども主体の授業づくりとその評価【検証】	<ul style="list-style-type: none"> 講義、演習を通して、授業実践の内容を検証、共有し、子ども主体の授業づくりの工夫について学ぶ。 講義、演習を通して、授業実践に関する自身の成果と課題を振り返り、今後の授業改善の具体的方策を考える。 	準備物 <ul style="list-style-type: none"> 実践レポート 学習指導案（提出用1部、交流用6部）

4 OSAKA 教職スタンダードとの関わり

求められる資質・能力		第1期	研修回
I	1 人権尊重の精神	人権尊重に基づいた子ども理解ができ、指導することができる	
	2 危機管理能力	学級等の安全管理ができる	
	3 学び続ける力	優れた取組みに学ぶ姿勢を持っている	
II	4 課題解決能力	子どもの課題を把握し、解決に向けて行動できる	
	5 法令遵守の態度	教育公務員として法令を遵守することができる	
	6 事務能力	計画的かつ正確・丁寧に処理できる	
III	7 協働して取り組むことができる力	組織の一員としての自覚を持っている	
	8 ネットワークを構築する力	課題を解決するために相談することができる	
	9 マネジメントする力	学級経営等を行うことができる	
IV	10 授業を構想する力	子ども主体の学習指導案を作成することができる	22、24、25
	11 授業を展開する力	基本的な授業スキルを実践に生かすことができる	22、24、25
	12 授業を評価する力	様々な方法を用いて自分の授業を振り返る	22、24、25
V	13 子どもを理解し、一人ひとりを指導する力	個に応じた指導・支援ができる	22、23、24、25
	14 子どもの集団づくりを指導できる力	迅速な報告・連絡・相談を行うことができる	23
	15 子どもを集団づくりの中でエンパワーできる指導力	学級の子ども一人ひとりの実態把握ができる	22、23、24、25
専門領域【支援学校（学級）の教諭】			
1	ネットワークの構築	子ども一人ひとりの課題を解決するために相談することができる	
2	子ども理解 個の教育的ニーズに応じた指導・支援	個に応じた指導・支援ができる	22、24、25
3	交流及び共同学習等	学級の子ども一人ひとりの実態把握ができる	